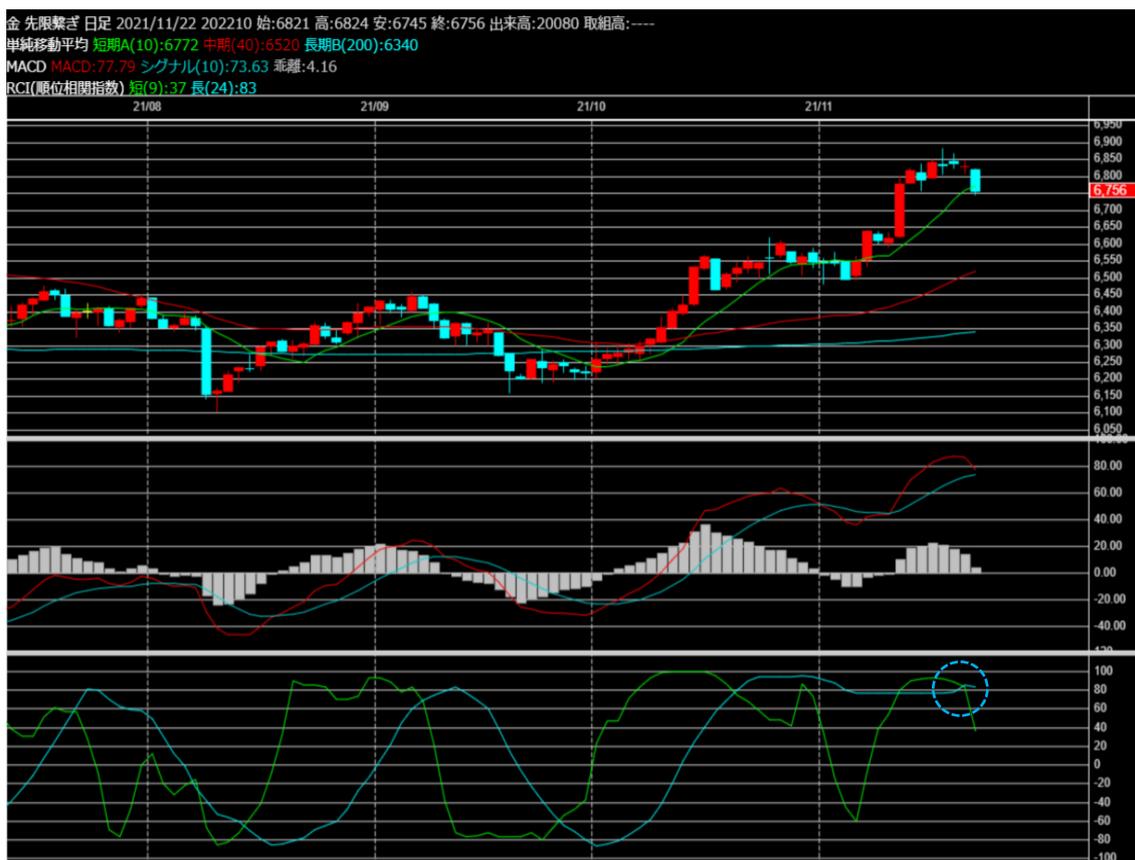


<金標準先物、欧米の金融政策の違いからドル高：金利高・・・>



(出所：オアシス)

オーストリアは22日から感染拡大に伴いロックダウンを実施する。ドイツ保健相は感染拡大に伴いロックダウンの質問に「あらゆる対策を削除しない」と発言し、部分的なロックダウンを示唆している。またラガルド ECB 総裁は講演で「現在のように、インフレ圧力が後退する見込みである時に、政策を引き締めるのは理にかなっていない」と指摘したが、ウォラーFRB 理事は「私はテーパリングを加速し、来年には金融緩和をより急速に解除することを支持する方向に傾いている」と発言するなど、欧米の金融当局者の言動が真逆を示している。また債券市場でも米国長期金利は上昇しているが、ドイツ長期金利は8月24日以来のマイナス金利を示し、為替市場ではユーロ安：ドル高の動きが加速している。そのため金標準先物は、先週に6886円まで高値を試しているが、2018年6月と同様にFRBとECBの金融政策の違いを受け下値追いに变化しており、6600円に向けた下値追いに注意したい。

<テクニカル>

金標準先物の日足をMACDとRCIで見ると、MACDではMACDが下げながら、シグナルも上昇が止まり売リクロスのサインが発生する直前である。RCIは短期が下がり、長期を下回るサインを示している。また日足が10日移動平均線を下回るなど、目先40日移動平均線に向けた下値追いに变化したと予想される。

2021年11月22日

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 276,000 円(2021年11月22日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 33,000 円(2021年11月22日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>